

# 日本ボーイスカウト大阪連盟 豊中地区広報

## とよなか

第 86 号

平成 23 年 12 月 5 日

発行

日本ボーイスカウト大阪連盟

豊中地区

## 成果をあげた第5回豊中地区キャンポリー

黒田地区協議会長

ボーイスカウトは 1907 年、英国で行なわれた小さなキャンプから始まりました。少年たちに夢と冒険を与える素晴らしいキャンプでした。豊中地区キャンポリーは、地区のスカウトが一堂に集い、キャンプ生活を通して日頃のスカウト活動を実践し、相互の友情を深め、自発活動を促す、地区最大のキャンプです。

豊中地区は、1976 年に豊能地区から分封独立して 35 年になります。この間、豊中地区キャンポリーは、第 1 回滋賀県あいば野(1981 年)、第 2 回滋賀県マキノ高原(1988 年)、第 3 回京都府大江山(1996 年)、第 4 回愛媛県大三島(2004 年)の 4 回開催されました。第 5 回豊中地区キャンポリーは、地区結成 35 周年という記念すべき年に、滋賀県蒲生町グリム冒険の森で「Feel the Nature, Feel the Scouting!」～自然を感じ、スカウティングを感じる～をテーマに 500 人が参加し、8 月 10 日～16 日の 7 日間にわたる長期キャンプとなりました。これまでの地区キャンポリーは、地区主体のプログラムを提供した運営でしたが、今回の地区キャンポリーは、コミッショナーチームとラウンドテーブルを中心に企画され、プログラムは各隊の独自性を生かした運営で行なわれました。日頃の訓練の成果を発揮して、いきいきと活動しているスカウト達の姿を見ることができました。また、スカウト達は東北地方の地震で被災されたスカウト達に励ましのメッセージを横断幕いっぱい、心をこめて書いてくれました。コミッショナーチームが中心に企画された開会式・全体集会・閉会式では、スカウト達は盛り上がり、おおいに楽しんでおりました。

大変素晴らしい地区キャンポリーであったと思っております。これも参加隊の指導者の皆さんのおかげで、成功のうちに終えることができたこと、本当にありがとうございました。また、団委員長をはじめ団をあげてご支援いただき感謝申し上げます。この地区キャンポリーを通してたくさんの力の結集がありました。この力を団・地区の弥栄につなげてほしいと祈願しております。



## 地区の主な活動（平成23年5月～平成23年11月）

### ●全指導者研究集会 平成23年7月10日（日）豊中市中央公民館

コミッショナー 菅沼

平成23年7月10日（日）豊中市中央公民館で豊中地区全指導者を対象とした、全指導者研究集会を開催致しました。今年の午前のワークショップは自然体験活動指導者登録制度についての講習会を行い、豊中2団坪田氏による講習を行いました。

午後のワークショップは地区トレーニングチーム員によるパトロールシステム（チームシステム）と題して、班、組のあり方を体験しながら役割を認識しました。お忙しい中93名の指導者に参加して頂き感謝申し上げます。



### ●第93回全国高等学校野球選手権大会におけるボランティア 平成23年8月6日～16日 甲子園球場

広報委員 吉田宣夫

8月6日～16日及び20日の計12日間実施し、大阪連盟で延べ181名のスカウト、指導者が参加しました。また、20日の閉会式では、朝日新聞社より急遽要請があり、「がんばろう 日本」の横断幕手として2名（内1名は豊中16団森真由美さん）のVSが協力参加しました。

### ●第5回豊中地区キャンポリー 平成23年8月10日（水）～16日（火） 滋賀県

5TC 実行委員長 永浦

去る8月10日より16日にかけて開催された豊中地区35周年記念・第5回豊中地区キャンポリーは、「Feel the Nature, Feel the Scouting」のテーマのもと、BVS・CSの舎営地・青年の城、およびBS・VSの野営地・グリム冒険の森の滋賀県でも有数の2施設を最大限に活用して、その目的である「自然に親しみ、仲間と喜びを分かち合い、スカウティングを行う」という活動目的を十分に達成しながら、特に大きな事故も無く無事終了いたしました。参加者総数407名。舎営220名（BVS49名、CS171名）野営187名（BS121名、VS41名、本部25名）です。



●スカウトの日 平成 23 年 9 月 19 日(月)

広報委員 吉田宣夫

敬老奉仕。参加団。豊中2団、豊中3団、豊中4団、豊中17団、豊中18団が敬老奉仕を行いました。

清掃奉仕。参加団。豊中1団、豊中4団、豊中5団、豊中8・16 合同団、豊中14 団、豊中17 団、豊中18 団が清掃奉仕をおこないました。集められた空き缶数 136。ペットボトル数 137。以上スカウトの日参加合計人数 259 名。



●大阪マラソン奉仕 平成 23 年 10 月 30 日(日)

広報委員 吉田宣夫

大阪初の市民マラソン、第1回大阪マラソンの奉仕に参加いたしました。豊中地区は、約 36km 地点の南港東駅付近で沿道警備を行いました。スカウト 19 名、指導者9名、合計 28 名が参加いたしました。終盤、雨が降ってきましたが、全体では暖かくて比較的楽しい奉仕でおわりました。



●ビーバーランド 平成 23 年 11 月 3 日(木・祝) 豊島温水プール ふれあい緑地

森田BVS担当副コミッショナー

5 月に台風の影響で延期になっていた「ビーバーランド」が、11 月 3 日(祝)に開催されました。場所は豊島温水プールのまわりの「ふれあい緑地」で、スカウト 46 名、見学者や本当は 5 月にビーバーランドに参加できるはずだったカブ隊に上進したスカウトや弟妹など 20 名、指導者・保護者 82 名の計 148 名が暖かい秋の休日を満喫した一日になりました。今回は、怪傑ゾロリ(?)がストーリーの進行役。スカウトたちが自分たちでストーリーを進めて、グループで一緒になった子どもたち同士が触れ合う中で、自分の意見を言う、人の話を聞くなど、社会性を涵養するビーバーらしいプログラムを提供できたと思います。



ビーバーランドに来て、入隊が決まったスカウトもいました！豊中地区のビーバースカウト 100 人目指して頑張ろう！

●第5回友情カーニバル「とびだせ豊っこ!!天才もりもり」平成 23 年 11 月 23 日(水・祝) 阪急豊中駅前広場

広報委員 亀井耕二

雨模様の中、午後 1 時に阪急豊中駅2階広場で開催。少し肌寒く、出足は少なかったものの徐々に増加。小さなお子さんの手を引いた方々の参加が目立ちました。クイズでは、子供たちが駅長室に入ってヒントを教えてもらったり。午後2時過ぎにはパーフェクト賞(トンボ)は完売！参加者は 156 名(内スカウト 24 名)、奉仕を戴いた方は 100 名を越えました。また、12 団花木団員長のご尽力で阪急電鉄様には多大なるご協力をいただきました。



# 豊中12団 夏季行事「団キャンプ 富士登山」

8月5日～9日 BS・VSは8月4日～9日

豊中12団は昨年より計画していました「富士登山」をメインにビーバーからベンチャーまで合同で今年の夏季キャンプを実施しました。ベンチャーは「全員登れる富士登山」を企画、準備、実施をプロジェクトにして4月から立ち上げました。ビーバー、カブはそれに耐えられる体力づくりを基本に取り組みました。ボーイはキャンプですべてが円滑に、安全に出来るよう計画実施してきました。

今回はスカウトを連れて12年ぶりの富士山でした。8月7日には必ず雨が降ると2か月前 指導者、保護者に説明し万全の雨対策もしました。8月7日は雨に加えて落雷で残念ながら全員の登頂は出来ませんでした。27名のうち11名が山頂に立ってくれました。残りの16名は残念ながら8合目の下り分岐点で登頂断念をしました。しかしこの合同キャンプを経験してビーバーはお兄ちゃんお姉ちゃん達に憧れ、カブはボーイやベンチャースカウトのいう事を聞いて成長し、ベンチャーは年下の彼らの面倒を見て団体生活の基本を学びました。

来年は立山で今度は全国のカトリックスカウトの仲間と触れ合う機会が出来ます。

## プログラム

- |         |         |  |
|---------|---------|--|
| 8月4日(木) | BS・VS   | すべての荷物の積み込み準備とグリーンバー会議                         |
| 8月5日(金) | 朝7時集合   | 7時30分教会出発(貸切バス)                                |
|         | 午後3時    | 舎営・キャンプ地 山梨県道志村 道志の森キャンプ場着<br>開会式・設営・夕食・夜プログラム |
| 8月6日(土) | BVS・CS  | は場内観察ハイク 富士登山準備                                |
|         | BSは設営Ⅱ  | VSは「朝霧高原馬飼野牧場」手作りラー油に挑戦                        |
|         |         | 夜は登山最終打ち合わせ                                    |
| 8月7日(日) | 朝5時起床   | 5時30分キャンプ場発                                    |
|         | 7時五合目到着 | 8時登山開始 午後2時先頭組11名山頂到着                          |
|         | 午後3時    | 落雷雨のため残りは八合目富士山ホテルで下山                          |
|         | 午後6時    | 五合目に全員集合無事確認 夕食                                |
|         | 午後8時    | キャンプ場へ帰着                                       |
| 8月8日(月) | 午前10時   | CSは富士山風穴・氷穴見学 BVS・BS・VSは<br>花の都公園にて見学・クラフト実習   |
|         | 午後7時    | キャンプファイヤー(VSの指導)                               |
| 8月9日(火) | 午前10時   | 現地にて感謝式 出発                                     |
|         | 午後6時    | 教会にて閉会式  |



# 豊中第21団夏期行事の紹介

ご存知のように21団は世界救世教の宗教団です。毎年7月の海の日3連休を利用し、団行事として「親子で参加する箱根神仙郷建設奉仕」と名付けビーバーからベンチャー、団委員、育成会のメンバーの家族を含め赤ちゃんから70代のおじいちゃん、おばあちゃんまで家族で本山(箱根強羅)での奉仕活動を行っています。同時に登山やポイントラリー、キャンプファイヤーなども行い、スカウティングと信仰継承の両立を目指す21団最大のイベントで、車中1泊、現地2泊3日とハードなスケジュールですが、今年で13回目を迎えました。今回はその様子を写真でご紹介します。

## <奉仕活動>



ボーイまでは清掃奉仕  
ベンチャー以上はペンキ塗り



## <隊プロ>



ビーバー隊の周辺散策



ボーイ隊の神山登山  
(一等三角点)

## <生活の様子>



朝礼



スカウトズタウン



ゲーム



自然農法産のおいしい食事



お楽しみ会(BBQ、キャンプファイヤー、各隊スタンツ)



記念撮影

## ■■■本山(箱根強羅)ってどんなところ? ■■■

世界救世教の活動目的は世界を救い、この地上に天国を建設することです。いわゆる本山である箱根神仙郷は聖地であり、天国のひな型と位置づけられています。そこは箱根美術館や紅葉で有名な苔庭などがあり、創始者岡田茂吉師の理想とする美のあふれた世界が広がっています。



箱根美術館



箱根美術館の苔庭



箱根美術館お茶室真和亭

# 富士章スカウト誕生!

豊中第5団ベンチャー隊 川北航平さんの富士章面接が11月16日、大阪連盟で行われました。面接は谷口理事長、横山コミッショナー、加納事務局長、前田スカウト委員長のもと行われ、今後の活躍を期待するとのお言葉をいただきました。おめでとうございます!

(地区HPより)



## 第22回世界スカウトジャンボリー (22WSJ) に参加して

豊中第3団 VS 隊 新留 裕崇

先ず始めに、22WSJに行かせて下さった保護者と指導者の皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

22WSJは本当に毎日がお祭みたいで、たくさんの国のスカウトとゲームやスカウトグッズの交換、可愛い子と写真を撮ったり…。自分でも分かるくらい、22WSJに行く前より他人との接し方など当たり前の事がもっと出来るようになり、なんか勇気みたいなものがよりついた気がします。22WSJに行けたお陰で変わったと思います。でもなにより、世界のスカウトは話掛けたらまともな英語じゃなくても必死に理解してくれて、相手の話が早く聞き取れない時は、もう一度ゆっくり話してくれたりと優しい人ばかりでより楽しめました。次回は日本で世界スカウトジャンボリーがありますが、次は英語をより勉強し副長もしくはIST みたいなお手伝い役として行きたいです。ありがとうございました。

豊中第4団 VS 隊 細川 大我

私が22WSJ に行ってきたのは、もう3ヶ月も前のことなのですが、今でも特に印象に残っているのは、人の多さでした。様々な人種の人と話し、ネッカチやワッペンを交換し、コミュニケーションを取りました。閉会式や開会式では、その皆が一堂に会し、22 回目のジャンボリーを祝い、歌いました。

ジャンボリーの開始前、私たちが使うサイトの隣ではオランダのスカウト達が設営を行っていました。遠めだったので細かくは分かりませんでしたが、おそらく「角縛り」を使って設営をしていました。

この時、私は「ボーイスカウト」という団体の大きさ、広さを感じました。

また、一人のイギリス人の作った団体が世界へと広まった、という事実を改めて知りました。

今回のジャンボリーに参加した人間は3万5千人だったそうです。

次に日本で行われるジャンボリーにも、きっと沢山のスカウトが集まるでしょう。ボーイスカウトの凄さを知る為にも、是非参加してみてください。

僕はスウェーデンで行なわれた第22回世界ジャンボリーに参加させていただきました。このジャンボリーは世界の中で一番大きなボーイスカウトの大会で、4年に1度しか行なわれないものです。

僕はこのジャンボリーに参加するに当たって2つのことを準備しました。1つは英会話の上達の為に英検準2級を修得しました。もう1つはプロジェクトを企画しました。僕が立てたプロジェクトは「100人以上の外国人と一緒に写真を撮る」というものと、「20ヶ国の言語で『I love you』をTシャツに書いてもらう」というものです。その理由は、世界中の国の人と交流できるこの機会を形として残して、いつでも思い出せるようにしたかったからです。

レバノンのキャンプサイトに行った時は、逆に自分の名前を感じて腕に書いてくれと求められました。外国人のフレンドリーな態度はすごく助かりました。

現地で仲良くなったベルギーの女の子は、最後の日にわざわざ僕のところにお別れの挨拶をしに来てくれて、またいつか会おうと連絡先をくれ、ハグをしてくれました。とても可愛い女の子で国境を越えて人の優しさを感じました。

韓国のキャンプサイトでは、僕達がK-POPのダンスを披露した際、韓国人も混ざって一緒に楽しみました。自分から何か行動を起こしたら相手も受け入れてくれるということを学びました。今でもFACEBOOKでその人たちと仲良くしています。

僕はプロジェクトの延長線上にこのようなことが起こると予想していませんでしたが、最初の目的以上のものを僕に与えてくれたと思います。

このジャンボリーで一番感動したことは、自分が英語を話せなくても頑張っただけのことを理解しようとしてくれたり、理解するまであきらめずに話してくれたことです。英会話の上達の為に準備しましたが、やはり本番では不十分でした。しかし、現地では気軽に話しかけてくれて、聞き直しても簡単な言葉に変えて話してくれました。そこで言葉はお互いを理解し合える一番手軽な道具だと痛感しました。なので、これからも勉強していきたいと思います。

僕が今まで経験した中で、この18日間が一番充実した素晴らしい日々になりました。このジャンボリーで行なってきたことができたのは、ボーイスカウトの名の下で集まり、「スカウトは兄弟」という言葉で繋がっているから可能であったのだと思います。出会いは一期一会。もう会えないかもしれないけれど、僕達にはボーイスカウトという繋がりがあがる。そう思うことができたのは、この世界ジャンボリーのおかげです。僕はボーイスカウトに感謝しています。



この夏、7月27日から8月7日まで、北欧にあるスウェーデンで約4万人の世界中のスカウトが集まってキャンプをする第22回ワールドスカウトジャンボリーという大会に参加しました。

飛行機でオランダを経由し、デンマーク、そこからバスでスウェーデンというハードな日程でしたが、スウェーデンの自然を見た瞬間、今までの疲れが吹き飛ばすように雄大で美しかったです。

現地に着いてからは、海外のスカウトと沢山交流をしました。そこでまず感心したのは、とてもフレンドリーだったという事です。どこに行っても海外のスカウト達はゲームなどをして楽しんでいて、僕たちも度々混ぜて貰いました。何をやっても笑いが絶えなくて本当に楽しかったです。そして、とても優しくかったです。どこに行っても聞こえるのは英語ばかり。英語力の無さを身をもって思い知らされました。しかし、僕のあやふやな英語を必死にききとろうとしてくれる姿が本当に嬉しかったです。

僕は人生で一番有意義な日々をくれた海外のスカウト達、それとこの思い出を一生忘れる事はありません。そして、もう一度海外スカウト達に会って「ありがとう」と伝えたいです。



# 東日本大震災支援の取り組み

豊中第4団 RS隊 小園 悠記

## 1. 東日本大震災復興支援募金活動

3月13日(日)千里中央・豊中駅・庄内駅 奉仕者 58名(他地区含む)募金総額 ¥1,288,709-

震災発生2日後に豊中地区RSを中心に有志を募り、募金活動を実施。上記の3ヶ所にて4時間街頭募金を行なった。急な呼びかけにも関わらず、58名のスカウト関係者にご奉仕いただいた。震災直後とあって、市民の皆様から多くの募金を募ることができた。翌日、全額を日本赤十字社に送金。

## 2. イベントでの出店

5月14日(土) 原田神社

おかまち・まちづくり協議会主催の東日本復興支援イベント「おかまちから日本を元気にしよう！」にて、地区RS・VSにて「射的」を出店。13,000円の売上。純利益7,900円を協議会を通して被災地に送る。有志の地区RSが集まった震災支援会議で、18団北之坊VS隊長よりお話を頂き、実施。当日は地区VSにも声を掛け、協議会が出店する「流しそめん」の奉仕も行う。イベントを通して、地区RSでも、もっと多くの復興支援活動を展開しようという方向になる。

## 3. メッセージボード作成

第5回豊中地区キャンポリー(5TC)にて、参加者にメッセージボードへの寄せ書きを募る。ほとんどの参加者から寄せ書きを頂き、その写真からパネルを作成し、岩手県連盟に送る。当初より、話があがっていたメッセージボードであったが、5TCという絶好の機会があったので、地区にも協力していただき実施できた。また同時に各団からご寄付していただいたネッカチーフにも寄せ書きを行い、同じく岩手県連盟に送らせて頂いた。

## 4. 被災地への学校図書寄付活動

7月～8月に実施。各団から学校図書の寄付して頂き、約400冊あまりを関西大学を通して被災地へ送る。関西大学が行なっている被災地への学校図書寄付活動をお聞きして、地区内でも実施することになった。7月上旬から各団に呼び掛け、8月のオールラウンドテーブルで、回収させて頂いた。地区のスカウト関係者の皆様からの多大なる協力がこの結果に繋がり、ボーイスカウトのコミュニティに強く感心させられるきっかけとなった。

## 5. 豊中市に避難されている方向けのイベント主催

9月11日(日) 服部緑地公園内 BBQ 参加 1家族4名

これまでの中でも、特に力を入れた取り組みであった。被災地への支援(例えば募金や物資支援)以外にも何か出来ることはないか?と考え、こちらに避難している方への支援も行う事になった。豊中市の危機管理室に話を持っていき、ビラを避難者に配布して頂くなどの協力を得ることができた。参加人数0も予想していた中、南相馬市から避難されているご家族に来て頂くことができ、震災発生からちょうど半年の9月11日にイベントを開催し、非常に楽しんで頂けた。

## 6. キャンドルナイトへの奉仕

10月15日(土) 服部緑地公園内 キャンドルナイトにて募金活動

募金総額 40,134円

毎年開催されているキャンドルナイトにて、東日本被災地支援(仮設住宅安否確認用旗)募金を行なった。今回は大阪府都市整備部事業管理室「笑働OSAKA」より依頼されたもので、後日、寄付金を「笑働OSAKA」に届けた。



## ●総括

震災発生直後の3月13日、地区のRSが中心となり市内で募金活動を行いました。その後、有志の地区RSで「災害支援活動チーム」を結成し、これまでに上記の活動を行なってきました。「長く継続する事」「自分たちの出来る事をする」の2つに重点を置き、活動をしています。

元々、地区RSで集まる機会というのはこれまでなかなかありませんでしたが、昨年の15NJ以降、その参加隊指導者や大会奉仕者のRSで集まる事が増え、そのメンバーが中心となり、今回のチームを結成することができました。また、これを受け「地区の他のRSにも声を掛けたい！」との意見がチーム内に挙がり、今夏の5TCにて「ローバーの集い」(参加はRSと18歳以上のVS)を開催し、約20名が集まることができました。今後も地区RSとして、この活動やその他のRS活動を続け、次の世代に繋げていきたいと思っています。

支援活動を通して、私は「ボーイスカウト」というものを強く考えさせられました。もちろんボーイスカウト内のコミュニティの素晴らしさは、自身のこれまでの活動や、また今回の支援活動で地区内のスカウト関係者の皆様によって十分実感させて頂きました。

しかし、それ以上に、市民の方々から寄せられた「ボーイスカウトへの信頼性」というものを強く感じました。募金活動1つにしても、「ボーイスカウトなら信頼できる」「被災地の為によりしくお願いします」といった温かいお声をたくさん掛けて頂きました。依頼された活動でも、「ボーイスカウトさんだから」と言って頂くことが何回もあります。それに応えるには、もっと頑張らなくてはならない！期待を裏切れない！と、今後に繋げる私達の糧になっております。

私達RSでは、スカウト活動以外でも今回の災害支援への動きをしています。地区RSでは今現在、私を含めた4名が、個人的に被災地(石巻市3名・気仙沼市1名)へボランティア活動に行ってきました。そこでそれぞれ学んだことを、チームで話し合い、更に今後の活動に向けて動こうとしています。今後も地区の皆様のお力をお借りしていく事があるかと思えます。よろしくお願い致します。



## 豊中地区スカウトクラブだより

### スカウトクラブの参加実績

- 6月25日～26日 わっぱるでのデッキ作成に参加
- 8月10日～16日 5TCへの奉仕参加
- 11月23日 「とびだせ豊っこ 天才もりもり」にコーナー参加
- 11月26日 元豊中18団上荷さんを囲んで「冒険心を忘れない」企画

豊中地区の皆さんのお助けが出来るように、またプログラムのヒントや支援できる体制を作っています。さらにどなたでも入会(スカウト経験者・現役指導者)出来ます。ぜひスカウトクラブに入りませんか？

花木一夫 06-6852-3831

[kazuohanaki@joy.ocn.ne.jp](mailto:kazuohanaki@joy.ocn.ne.jp)

事務局 山本玲子 090-6052-2509